

## 令和4年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・体力・技能の向上を目指してどの領域でも主運動につながる補助運動に継続的に取り組んだことにより、動きの理解や技能の向上が見られた。また、気が付いたコツを共有し合う様子が多く見られるようになった。
- ・必然的に関わり合えるような単元計画の工夫をすることで、対話による学習の深まりが増えた。

#### (2) 課題

- ・運動に対して主体的に取り組む児童とそうでない児童の二極化が見られる。
- ・時世もあり、運動経験の減少、体力の低下傾向が見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）      \*実施なし

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてや動きのポイントを明確にして児童に提示することで、児童のよい動きが増えた。</li> <li>○模範となる姿を見せることで、それを真似して技能の向上が見られた。</li> <li>○実感を伴った理解が不十分なため、知覚と感覚が一致していない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考しながら運動に取り組む様子は見られる。思考したことを表現するための語彙が少ないので、教師からの言葉掛けや掲示物から表現しやすい環境を整える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてのもたせ方を工夫することで意欲的に学習に取り組むことができた。</li> <li>○友達の動きを見合う場を設けることで、互いのいろいろな動きを認め合う様子がみられた。</li> </ul>

##### ② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○動きを高めようと繰り返し運動する姿は見られるが、友達の動きを取り入れる姿などは少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考をしながら運動に取り組むことはできている。更に高められるよう友達との関わり合いを意識させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に運動に取り組む児童が多い。休み時間も多くの児童が外遊びを行っているが、取り組まない児童もおり、運動への意欲に個々での差の広がり懸念される。</li> </ul>

### ③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○一定の技能面での高まりが見られる。一方で運動のポイントは理解しているが、体の使い方としての実感が得られない、動作は再現できるが、ポイントを理解できておらず、応用や発展をさせられないといった、知識と技能が結び付けられない児童がいる。</p>	<p>○自己の課題を把握し、めあてを適切に設定することができる。</p> <p>○自己の課題に合わせて、運動の場を選択したり練習を工夫したりできる。</p> <p>○体育ノートを活用して、友達の運動のよさに気付いたり、それを自己の運動に生かそうとしたりしている。</p> <p>○人を模範として動きを改善する姿は見られるが、児童同士アドバイスを送ったり教え合ったりする姿は少ない。</p>	<p>○運動のこつを伝えたりアドバイスを受け入れたり、互いのよさを受け入れる素地ができています。</p> <p>○約束を守り安全に気を付けて運動ができる。</p>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○単元を通して主運動につながる補助運動を行う。</p> <p>○単元で必要な基礎技能が付くよう運動量を確保する。</p> <p>○発達段階を考慮して、スモールステップを踏んだ運動を取り入れる。</p> <p>○自分の生活と結び付けられるように、経験と関連させ、実感を伴った理解となるようにする。</p>	<p>○自分の課題に適した場を選べるようにする。</p> <p>○体育カードを活用し、友達のよい動きや気付きを擬態語や擬音語で表現したり、書いたりする。</p> <p>○児童のよい声掛けを価値付け共有し、思考・判断したことを掲示する。</p>	<p>○用具や器具の準備・片付けの役割分担を明確にしたり、場の設定図を提示したりすることで、安全に留意し、意欲的に運動する態度を養う。</p>

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○単元を通して主運動につながる補助運動を行う。</p> <p>○単元で必要な基礎技能が付くよう運動量を確保する。</p> <p>○発達段階を考慮して、スモールステップを踏んだ運動を取り入れる。</p> <p>○自分の生活と結び付けられるように、経験と関連させ、実感を伴った理解となるようにする。</p>	<p>○体育ノートを活用して、自分に適切なめあてをもち運動に取り組ませる。</p> <p>○体の動きをイメージしやすいように、よい動きの模範となる連続図や絵、映像資料を提示する。</p> <p>○友達と関わりあって運動に取り組んでいる児童を称賛し、全体で共有しながら授業を展開する。</p>	<p>○多様な運動を楽しめるように活動内容や授業展開を工夫する。</p> <p>○グループやチームでめあてをもち、関わりを重視して活動を工夫し、技能や体力を高めるようにする。</p>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○技や動きのポイントを明確にし、適切な言葉かけを行う。</li> <li>○児童が教え合いながら、多様な運動経験を積めるようにする。</li> <li>○単元を通して主運動につながる補助運動を行う。</li> <li>○単元で必要な基礎技能が付くよう運動量を確保する。</li> <li>○発達段階を考えて、スモールステップを踏んだ運動を取り入れる。</li> <li>○自分の生活と結び付けられるように、経験と関連させ、実感を伴った理解となるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育ノート、チームカード等を活用し、ねらいに合わせてチーム・グループ・個のめあてをもち、取り組みを工夫する活動を重視する。</li> <li>○具体的で適切なめあてをもち、動きの工夫の仕方についてよい取り組みをしている児童を称賛し、全体で共有しながら授業を展開する。</li> <li>○ICT機器を活用して、運動を確認し、自分の考えや仲間の考えを共有できるようにする。</li> <li>○自分の課題に適した場を選べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な運動の楽しさを味わい、技能や体力を高められるように活動内容や授業展開を工夫する。</li> <li>○運動の特性や学年の実態、活動の系統性を意識してルールや場の設定を工夫する。</li> <li>○グループやチーム、個人でめあてをもち、関わりを重視して活動を工夫し、技能や体力を高めるようにする。</li> </ul>